

どうしてもお礼が言いたい

～「目標管理シート」～

2022・6・2 重枝 一郎

「目標管理シート」のご提出、ありがとうございました。

私は、「ひとりひとり見えている世界が違う」と常々言ってきました。誰かの「見えている世界」を知るには、言葉にしてもらわなければならず、そして、言葉にもらうためには仲良くしておくことが大切であると。その相手の「見えている世界」を知ることにつながるのが、この「目標管理シート」になります。何度も言いますが、この「管理」とは、私が先生方を管理するのが目的ではなく、“自分で自分の目標を管理する”ということです。

今、先生方のシートをプリントアウトし、ファイリングし、少しずつ読ませていただいています。私は、正直、お世辞抜きで勉強になっています。また、感動することも多々あり、先生方をより一層好きになりました。

さて、今号は、この「目標管理シート」の“これから”について書きます。

「相手の見えている世界」を知ると、次の3つのことが生まれると考えています。

① コミュニケーションはもっとスムーズになる

私たちは何となく相手と接するとき、一瞬で判断して、自分なりに相手のイメージをつくります。その判断には、知識も必要ですし、それなりの経験も影響しているでしょう。しかし、その相手と深く接していくと、そのイメージが当たっていないことも少なくありません。「目標管理シート」の①～③はプロ教師としての先生方の実践を知ることができます。④「生産性の向上」のところでは、先生方の人間味を感じることも多々ありました。相手に対して感覚的でなく客観的に洞察するとともに、どんなことでも自分だけの知恵で考えるより、広く他者から知恵を借りることもなると思います。

② 自分で決めた目標に価値を見出すきっかけになる

他者に与えられた目標でなく、自分で決めたものに価値があると思いたいのが人間の心理と言われます。これをコントロールイリュージョンというそうです。先生方が「〇〇についてどうしようか」と考え、実行することは、相対評価でなく、絶対評価を基本とした判断をすることでさまざまな価値を見出すことができると思います。

③ 世界を広げ、自分とは異なる価値観を学ぶことができる

他者が「どうしてこういう行動をとったのだろう」とかその人の真意を知ることができたり、自分とは違う価値観に触れたりすることが可能になると思います。その人を好きになる判断材料を増やしてほしいと思います。そして、他者をリスペクトし、その価値観を尊重してほしいと思います。たとえ「自分の意見とは違うな」と感じて、コミュニケーションをあくまでもスムーズに運ぶことに重点をおいてほしいと思います。結果的に自分の想像力が磨かれ、相手の気持ちがわかるようになると思います。

釈迦に説法だが、生徒の成長を促す指導も同様